

西国巡礼慈悲の道

西国第十番 明星山 三室戸寺

合掌の心

山主 伊丹光恭

観音経の初めに

爾時 無尽意菩薩 即從座起 偏袒右肩 合掌向仏 而作是言 世尊 觀世音菩薩 以何因縁 名觀世音 尊に合掌して觀世音菩薩は、なぜ觀世音と名付けられたのか質問したのです。この合掌という行為について考えてみましょう。菩薩とは仏になろうと一生懸命修行している人のことで、私たち衆生のことです。

もあります。衆生が世尊に向い合掌している姿は、平素私たちが、仏の前で合掌する姿そのものです。合掌とは帰依の心を表わしたもので、手を合す自分と帰依される仏が必要なのです。

古歌に、
右ほとけ左凡夫とあわす
手の
中ぞゆかしき南無の一こえ
合掌された右左の二つの手は、仏と凡夫とが一つにな

ったことを示していますが、合掌の姿は人間の動作の中で最も美しいものではないでしょうか。

仏に合掌する姿は古代のインドの彫刻に始まりますが、日本の仏像の中にも合掌する仏が多く見られます。当山の勢至菩薩は静かに合掌し瞑想されていますし、三十三間堂の千体にもおよぶ観音様もすべて合掌されています。

仏の合掌の姿は実に慈悲にあふれたもので、私たちが仏に合掌すると同時に、私たち凡夫をも拝んで下さっているのです。つまり、私たちの中に仏を発見してください。合掌する時、人は商売繁盛、身体健勝といった請求

書ばかり仏に発行しますが、おかげさま、ありがとうございます。感謝の領収書を出す人は意外に少ないように思います。

感謝の合掌をし、いつも仏も私たちを拝んでくださっていることを意識したいものです。



西国第十番

明星山 三室戸寺
みむろとじ

本山修験宗

御本尊／千手観世音菩薩 開基／行表禪師

よもすがら 月をみむろと わけゆけば

宇治の川瀬に 立つは白波

主な年中行事

四月中旬 つつじ、シヤクナゲ園の開園

開園

六月一日 アジサイ園の開園

七月上旬 ハス酒を楽しむ会

(ハスの葉に酒を注ぎ、茎から飲む行事で、健康・長寿に効ありと伝えられている)

八月九日 千日参り(施餓鬼)

毎月十七日 宝物館開扉

(重要文化財仏像五体)

十一月土・日曜・祝日

観音様の足の裏を拝する会

観音風光

四、五月のつつじ、シヤクナゲ、六月のアジサイ、七月のハス、九、十月の萩、秋明菊、秋の紅葉と四季折々、花を楽しめるお寺です。
花は観音浄土を荘厳するため、植栽されているので、観音様に手を合わせ、観音浄土に抱かれている自分に気づいてほしいものです。

〒611-0013 京都府宇治市菟道滋賀谷21

TEL 0774-21-2067 <http://www.mimurotoji.com/>

納経時間 4月～10月／午前8時30分～午後4時

11月～3月／午前8時30分～午後3時30分

仏教用語一口解説

四苦とは

お釈迦さまは、最初の説法で「人生は苦である」と教えられ、その姿として四苦を説かれました。四苦とは、生・老・病・死という人間として必ず逃れる事の出来ない根本的な苦しみを指しています。生が苦と言うのは生まれたからこそ後の3つの苦があるという意味です。ですから、その執着を捨てて如何に日々を過ごすかが仏教の教えの中心でもあります。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。